

# 第二次匝瑛市子ども読書活動推進計画の概要

## 1 計画策定の趣旨

### (1) 計画策定の目的

近年、スマートフォンやインターネット、テレビゲーム等の様々な情報メディアの急速な普及により、子どもを取り巻く生活環境は大きく変化し、子どもの活字離れによる読書不足の影響が懸念されています。そのような、読書を通じ子どもに優れた本や読書の楽しさを伝えることの大切さが重要とされています。

「子どもの読書活動は、美しい日本語を学び、想像力を高め、主体的に生きていくために、欠くことのできないものであり、社会全体において読書の環境整備を推進していくことは重要である」として、『子どもの読書活動推進に関する法律』（平成 13 年 12 月）が施行されました。この法律に基づき、国では「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成 25 年 5 月第三次計画）が、県では「千葉県子ども読書推進計画」（平成 15 年 3 月、平成 22 年 3 月第二次計画、平成 27 年 3 月第三次計画）が策定され読書活動が展開されています。

匝瑛市では、平成 18 年 4 月に「匝瑛市子ども読書活動推進計画」を策定し、これまでに、ブックスタート事業、各学校における朝読書の普及、学校図書館の充実、学校への読み聞かせボランティアの実施、学校等への団体貸し出しの充実など、さまざまな取組を行っています。これにより、子どもの読書が徐々に広まってきてはいますが、子どもにとって読書は「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」（子どもの読書活動の推進に関する法律第 2 条）を受け、家庭・地域・図書館・学校などが連携・協力して、社会全体で子どもが読書に取り組める環境づくりを進めるために「匝瑛市子ども読書活動推進計画」（以下「本計画」という）を策定するものです。

## 2 第1次計画における成果と課題

### (1) 家庭における子どもの読書活動の推進

#### ①成果

子どもが絵本に出会い親子でふれあう機会としてブックスタート事業を実施し、絵本の読み聞かせと絵本をプレゼントしました。また、家庭教育学級等、機会を通じて読み聞かせの重要性について保護者に伝えるほか、乳幼児・児童向け図書リスト（リーフレット）を配付しました。

#### ②課題

読書に親しむきっかけ作りを提供し、家庭における読書活動を推進するための啓発が必要です。

### (2) 図書館における子どもの読書活動の推進

#### ①成果

子ども向け資料の専用コーナーを設置し、イベントを開催しました。また、読書活動を様々な形で支援するために司書を配置するほか、研修に参加し研鑽に努めています。さらに、読書に関する総合窓口として関係課と連携しています。

#### ②課題

子どもの読書に関して総合的窓口としての機能を発揮するため人的・物的環境をさらに充実させるとともに、関係課と連携し読書活動に関する周知を図っていく必要があります。

### (3) 学校等における子どもの読書活動の推進

#### ①成果

保育所・幼稚園については、すべての園で読み聞かせ等を行っており、読書の日常化の推進に寄与できました。

小・中学校については、朝の読書等全校一斉読書活動を行い、読書への関心を高めました。

## ②課題

保育所・幼稚園については、一部で読み聞かせ等が不定期になっている現状があるため、引き続き啓発が必要です。また、その一助となる地域との連携の推進に努めます。

小・中学校については、家庭・地域と連携を図り、学習活動全般を通してより一層読書活動を習慣づけます。また、教職員へは読書推進に関わる研修への参加を促し、意識の向上を図ります。

## 3 計画の期間

平成30年から34年までの5年間とします。

## 4 基本方針

### (1) 読書活動の連携・取組の強化

子どもが読書に親しむ機会の充実のために、図書館を中心に、家庭・地域・保育園・幼稚園、学校、関係機関がより一層連携、協力し、地域全体で子どもの読書を推進していきます。

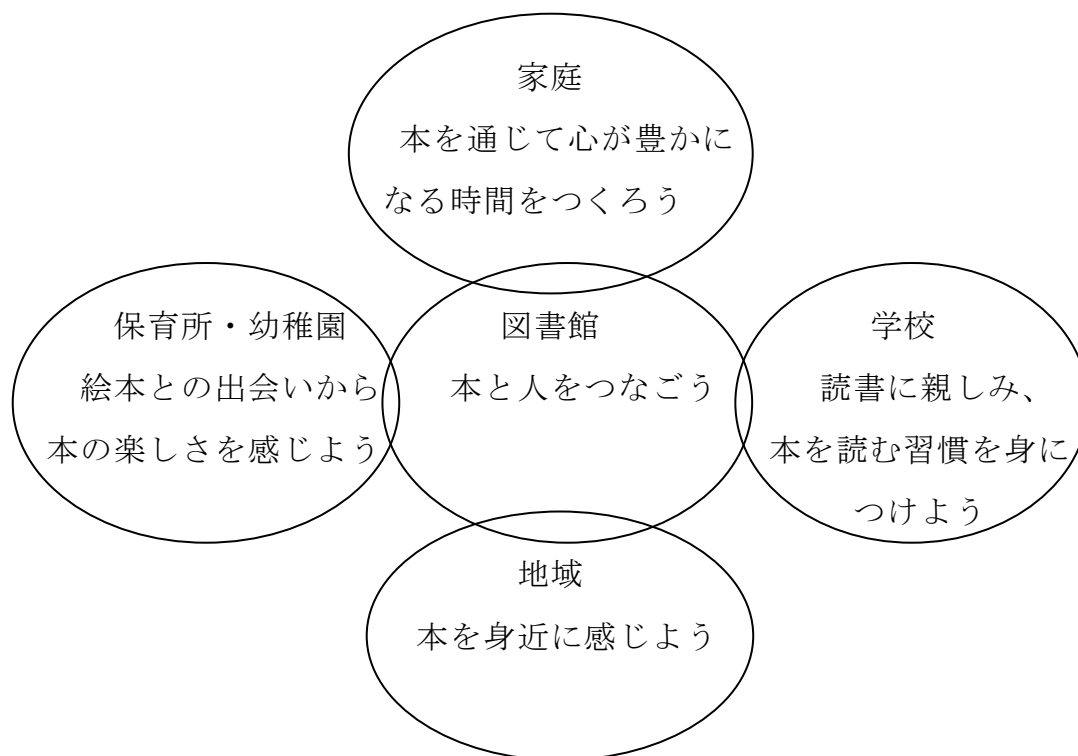
### (2) 読書環境の整備と充実

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、身近に本を手にするのできる環境・施設の果たすべき役割は大きく、施設・整備等の読書環境の充実に努めます。

### (3) 啓発活動と推進体制の整備

子どもの読書活動を効果的に推進するためには、子どもと関わる大人が読書活動の意義や重要性を理解し、関心を深めることができるよう普及・啓発に努めます。

## 5 計画推進のイメージ図



## 6 子どもの読書活動推進のための方策

### (1) 家庭における子どもの読書活動の推進

子どもの読書習慣は日常の生活を通して形成されるものであり、読書が生活の中に位置づけられ、継続して行われる必要があります。保護者は、子どもが読書に親しむきっかけを作ると共に、読書の習慣づけを図ったり、読書に対する興味や関心を引き出すよう積極的に子どもに働きかけることが望まれます。

No.	具体的な取組	具体的な取組の概要	推進部署
1	ブックスタート事業	親子がふれあうきっかけづくりとして、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行います。また、図書館の利用を促します。	生涯学習課 (図書館) 健康管理課
2	お勧め本リストの配布	図書館司書が選んだ子どもの読書活動啓発リーフレットを配布します。	生涯学習課 (図書館) 健康管理課
3	子育て講座、家庭教育学級	読み聞かせや読書の大切さを認識し、家庭での読書時間を確保できるよう家庭教育に関する事業などにおいて啓発していきます。	生涯学習課 福祉課

## (2) 地域における読書活動の推進

子どもたちは、ボランティア活動などにより大人と接しながら、本を身近に感じ自らの読書習慣を形成していきます。子育てサークルや放課後児童クラブでは、地域の中で子どもの読書活動を推進していきます。

No.	具体的な取組	具体的な取組の概要	推進部署
4	子育てサークル	図書館の場を借りて、読み聞かせを行います。また、大型絵本や紙芝居など、図書館資料を積極的に活用します。	生涯学習課 (図書館) 関係機関
5	放課後児童クラブ	子どもたちが日常的に本と接することができるよう、図書館の団体貸出を活用し、定期的に新たな本を借受けます。	生涯学習課 (図書館) 学校教育課

## (3) 保育所・幼稚園における子どもの読書活動の推進

保育所・幼稚園等は、初めての集団生活の場であり物の見方や考え方の基礎となる時期であるため、見る力・聞く力・想像力を養える絵本等に触れることが貴重な体験となります。園の職員を始め、保護者や地域との協力・連携を図り、その機会をより多く多様な形で設ける必要があります。

No.	具体的な取組	具体的な取組の概要	推進部署
6	幼児が読書に親しむ機会の充実	読み聞かせ等読書活動について、不定期なものを提起にする等、読書に親しむ古城的な機会となるよう努めます。	福祉課 学校教育課
7	保育所・幼稚園等の読書環境の整備	蔵書数の増加や図書館見学を通じ、児童が様々な本に触れやすい環境整備に努めます。	生涯学習課 (図書館) 福祉課 学校教育課
8	保護者に向けた読書啓発の推進	児童が興味を持った本やお勧めしたい本についてお知らせし、家庭での読み聞かせを啓発します。また、保護者による読み聞かせ等の行事参加を通して、保護者と児童の読書でのつながりを一層育みます。	福祉課 学校教育課
9	地域との連携	地域で活動しているボランティアグループに訪問活動してもらおう等、児童が多様な形で本に接する機会を作るため、連携に努めます。	福祉課 学校教育課

#### (4) 学校における子どもの読書活動の推進

学校は、児童生徒の読書活動を推進し、読書活動を形成していく上で大きな役割を担っています。学習指導要領では、楽しんで読書しようとする態度を育てることや、読書に親しみものの考え方を広げようとする態度を育てることなどが目標とされ、各学校の教育計画にも、読書活動の推進について計画されています。小・中学校においては、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等を通して、児童生徒の発達段階に応じて読書に親しむ態度を育成し、読書習慣を身につけさせるとともに、各学校の実情に応じて様々な工夫を凝らし、家庭・地域等と十分連携を図り、読書活動に取り組むことが大切です。

また、学校図書館は、児童生徒の自由な読書活動や読書指導の場であるとともに、知的活動を増進し、興味・関心等呼び起こし、自発的・自主的な学習活動を支援する学習情報センターとしての役割を担っています。学校図書館を計画的に利用し、活用することにより、児童生徒の読書活動の充実を図ります。

No.	具体的な取組	具体的な取組の概要	推進部署
10	保育所・幼稚園等の読書環境の整備	学校教育目標の中に学校図書館の活用方法や読書活動について計画し、先進的な取組に関する情報交換や研修を行うことにより、学校図書館担当者をはじめとする学校関係者の意識高揚を図ります。蔵書数の増加や図書館見学を通じ、児童が様々な本に触れやすい環境整備に努めます。	学校教育課 小中学校
11	学習支援機能の整備	調べ学習に対する適切な資料の提供や一人一人の子どもに合わせた支援に努めます。	学校教育課 小中学校
12	全校一斉読書活動、読書習慣の推進	「朝の読書」や「読み聞かせ」等多様な読書活動の一層の推進を図ります。 劇、語り聞かせ、群読等により読書の感動を表現する発表会などに取り組みます。 必読書の推進をします。	学校教育課 小中学校
13	本を通しての交流活動の推進	教職員やPTA、ボランティア等様々な人材支援による読み聞かせの充実に努めます。 高齢者等への子どもによる読み聞かせを行うなど地域との交流を図ります。	学校教育課 小中学校
14	図書館利用の推進	学校図書館や、図書館の積極的な活用を図った授業展開に努めます。	学校教育課 小中学校
15	学校図書館の図書資料等の整備・充実	児童生徒が、個々の課題に応じた調べ学習について効果的に進めることができるよう、図書資料や読書環境の整備に努めま	学校教育課 小中学校

		す	
16	学校図書の利用を充実していくための人的配置の充実	教職員の協力体制の確立や校務分掌上の配慮などの工夫を促します。	学校教育課 小中学校

#### (5) 図書館における子どもの読書活動の推進

図書館は、子どもが、多くの資料の中から自分のための本と出会い、読書の楽しみを知る場所であり、地域における子どもの読書活動を推進する上で、重要な役割を担っています。そのためには、魅力ある蔵書の充実を図り、児童書・青少年コーナーを整備するとともに、おはなし会やイベントの開催や、保育所・学校等への団体貸出を通じて、子どもが本に親しむ機会を提供します。

また、子どもへの働きかけだけでなく、親子がともに参加できるイベントなどを企画するほか、ブックスタート事業に協力するなど保護者への啓発にも努めていきます。

No.	具体的な取組	具体的な取組の概要	推進部署
17	子どもへの情報提供	図書館ホームページや館内OPAC（オンライン化された蔵書目録）に子ども用のページを設け、子どもたちが自分で図書館を利用し、本を探せるように整備し、充実させていきます。	生涯学習課 (図書館)
18	図書館相互の連携	東部ブロック内の図書館で、夏休み前に、小学低・中・高学年および中学生向けの推薦図書を選定し、ブックリストを作成します。 市立図書館に蔵書がない場合、他の図書館から取り寄せてリクエストに応えます。	生涯学習課 (図書館)
19	学校等の教育機関の連携	学校からの依頼を受けて、テーマに合わせて本を選び、調べ学習を援助します。また、学童保育や子育てサークルなどにも、図書館資料の団体貸出を積極的に行います。そのほか図書館への理解を深めるため、小・中学生の職場体験を受け入れます。	生涯学習課 (図書館)
20	障害のある子どもへの支援	特別支援学校の生徒が、自由に本を選べるよう来館を受け入れます。また、職業体験を受け入れ、図書館への理解が深まるよう努めます。	生涯学習課 (図書館)
21	ボランティア活	読み聞かせ等のボランティアを登録し、協	生涯学習課

	動の推進	力して事業を実施します。援助の一環として図書館では、大型絵本・紙芝居、エプロンシアターを所蔵するだけでなく、絵本台や紙芝居の舞台などの付属品も用意して、ボランティア活動を推進していきます。	(図書館)
22	図書館資料の整備	児童・青少年向け資料の収集に努め、魅力ある蔵書の充実を図ります。児童書は長く読み継がれるものがあることから、そのような本については複数揃え、常に提供できるようにします。	生涯学習課 (図書館)
23	スペースの確保	児童・青少年(ティーンズ)向けに、それぞれのコーナーがあります。特に未就学児童については読書の契機をつくる重要な時期であるため、乳幼児向け絵本の書架を置いています。また親子で絵本を楽しめる『おはなしのへや』を設けていますが、さらに充実させていきます。	生涯学習課 (図書館)
24	おはなし会の実施	毎週土曜日、4才くらいから小学校低学年を対象に、おはなし会を開催しています。4月・12月のうち1回は特別のおはなし会として、通常より時間を長くし、パネルシアターなども取り入れて、本やおはなしに親しむ契機となるよう努めます。	生涯学習課 (図書館)
25	イベントの充実	夏休みに小学生を対象として、「図書館たんけん」を開催しています。通常入れない場所を探訪したり、図書館員の仕事体験などを通じて、図書館への理解を深めます。そのほかにも、本の楽しさを知る機会となるようなイベントを工夫し、充実させていきます。	生涯学習課 (図書館)
26	保護者への啓発	「わらべうたの会」など親子で参加できるイベントの開催、保育園の講演会やブックスタート事業に司書を派遣するなどして、保護者にも読書活動の重要性を啓発していきます。	生涯学習課 (図書館)
27	司書の適切な配置と研修の充実	子どもの読書活動を推進していく上で、司書には、児童図書に関する広範な知識、子どもの発達段階に応じた図書の選択に関する知識および子どもの読書指導に関する知識が必要となります。これらの専門的知識・技術を習得し、質的向上を図れるよう、積極的に研修へ参加し、絶えず自己研鑽して行きます。知識を習得し、経験を重ねた司書を配備するよう努めます。	生涯学習課 (図書館)



(6) 子ども読書活動を推進するための啓発・広報

子ども読書活動を推進するためには、様々な機会を利用して理解と関心を深める必要があります。

社会全体が読書に関心を持ち、子どもの発達段階や個性に応じた自主的な読書活動を支えていくために、多方面からの啓発・広報活動に取り組んでいきます。

No.	具体的な取組	具体的な取組の概要	推進部署
28	「子ども読書の日」における啓発	「子ども読書の日」(4月23日)を広く知ってもらうために、図書館では特別なおはなし会を開催します。関係機関においても、子どもや保護者に対して、読書活動の重要性や楽しさの啓発に努めます。	生涯学習課 (図書館) 関係機関
29	広報紙・ホームページ等による情報の発信	図書館・学校等における読書に関する取組や行事の情報を広報紙・ホームページ・パンフレット等を通じて積極的に発信します。	生涯学習課
30	子ども読書活動推進のための事業の実施と推進	図書館・学校等が連携し、子どもの読書活動推進のための事業の実施と推進に努めます。	生涯学習課 (図書館) 学校教育課 幼小中学校 福祉課 保育所